

## □ 「地域とつなぐ防災教育」の作成について

体育健康課

県教育委員会では、学校における防災教育を推進するため、平成17年度から5年間、「しっかり防災推進事業」を実施し、防災教育推進モデル校を24校指定して「児童生徒一人ひとりの実践的防災能力の向上（自助）」と「災害時に互いに助け合うための防災ボランティア意識の向上（共助）」を目指して児童生徒の発達段階や地域の特性に応じた防災教育の推進に取り組んできた。

この度、モデル校の実践の中から地域と連携した取組みをとりあげ、県内全体の学校で実践可能な内容を編集した冊子『地域とつなぐ防災教育』を5,000部作成した。

## 1 目的

各学校で、本冊子を活用し、学校、地域の実態や発達段階に応じた取組みを展開するとともに、地域と連携した防災教育を推進する。また、地域と連携することで、地域に安全安心のネットワークの輪を広げることができる。

## 2 内容

冊子の前半は、防災の基本的な考え方や発達段階に応じた防災教育、地域と連携した防災教育の考え方と進め方について記述している。

後半には、地域の方と合同で行う避難訓練や、中・高生が家具の固定やガラスの飛散防止フィルムの貼付を学び、ボランティア活動として地域に広げていくといった、地域と連携した防災教育のプログラム例が記載されている。

また、取組みの例には、他県が開発した防災ゲームなども取り上げられ、さまざまな視点から防災教育に取り組むことができる内容となっている。

## 3 配付

(1) 配付時期 平成23年3月

(2) 配付先 全公立小・中・高・特別支援学校の全学級 1部（計3,721部）

## 4 その他

平成23年2月7日に開催した（徳島県・徳島県教育委員会主催）「徳島県防災教育推進大会・徳島県学校防災研修会」の講義で一部取組みについて紹介した。

今後は各学校に対して県教育委員会で開催する「徳島県学校防災研修会」等あらゆる機会をとらえて、本冊子を活用した防災教育を推進するよう啓発していく。